

第1回(2019)中等日本語教育授業教案コンテスト

教 案

【注意事項】

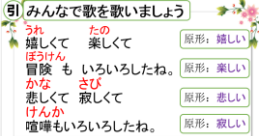
※項目は全て埋めてください。

※実際のクラスを想定しながら、学生に対する指示や説明、やり取りなど詳しく書いてください。

(授業時間は、1コマ 40～45 分)

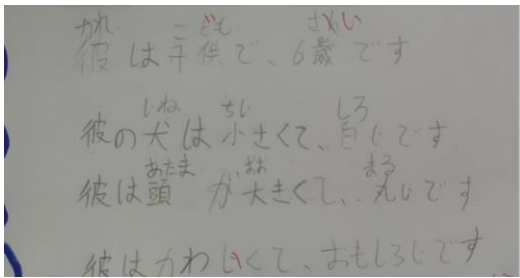
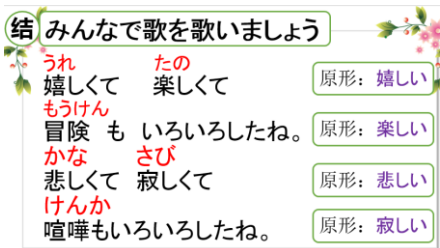
※教案は日本語で書いてください。

※特定の教科書を使用していない場合は、PPT 等の使用教材もお送りください。

使用教科書: <u>人教版八年级 第 3 課 文法1+2 と 人教版八年级 第4課 文法 1</u> (全 <u>7</u> コマの内、本教案は <u>2</u> コマ目) 1コマ <u>40</u> 分				
【要選択】(高校) <u>2</u> 年 クラスの人数 <u>36</u> 人				
【要選択】 第一外国語 <u>日本語</u> 学習歴 <u>3ヶ月</u>				
この授業の到達目標 ● 形容詞と名詞のて形(中国語で「中顿形」とも呼ばれる)を習得する。 ● 形容詞と名詞のて形を使って、ものやところや人などを日本語で説明できる。 ● グループ検討を通じて、学び合う。				
この授業の学習項目 形容詞と名詞のて形(並列) 1、A1 <u>い</u> くて、～。 (注意点: いいーよくて) 2、A2 <u>で</u> 、～。 3、Nで、～。				
時間	段階 (授業の流れ)	練習・活動の内容(詳しく書いてください)	練習・活動の 目的	注意点・ 使用するもの
3 mins	導入	● 「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」のオープニング曲「君がくれたもの」の一部分を生徒に教え、歌わせる。  ● 歌の後、簡単に中国語で説明する。それからPPTに出る形容詞はどのように活用されたか生徒に答えさせる。その後、今日の勉強内容「形容詞と名詞のて形」を導入する。	授業の最初に、アニメソングを通して生徒の興味を引き付ける。	授業の前に事前に音楽を流して、みんなで歌う。使用するもの: 授業資料(歌

				詞あり)
4 mins	文法の説明 (生徒発表)	● 授業資料の「提」の予習部分をチェックする。手を挙げる一人の生徒に講壇で発表してもらう。できたグループが2点をもらえる 【提：予習しましょう】 1) A あの犬は小さいです。かわいいです。 =B あの犬は<u>小さくて</u>、かわいいです。 2) A おばあさんは親切です。元気です。 =B おばあさんは<u>親切で</u>、元気です。 3) A 李佳さんは中学校2年生です。頭がいいです。 =B 李佳さんは<u>中学校2年生で</u>、頭がいいです。 生徒Aの回答想定: S: 1)の意味は「那只狗很小很可爱」という意味です。い形容詞で形は並列の意を表す。活用はこのようにします。板書:A1 いくて、～。 2)の意味は「奶奶很又亲切又有很精神」という意味です。この「親切」はな形容詞で、「で」をつけて、Aと同じ意味です。板書:A2で、～。 3)の意味は「李佳是初中2年級的学生, 很聪明」 名詞「中学校2年生」の後ろに「で」を付けるのも並列を示します。 板書:Nで、～。 T:大変よくできました。ちゃんと予習してくれましたね。そして板書も完璧です。	生徒の観察力や知識のまとめの力や発表能力などを高める。そして、予習効果を確認する。	注意点: もし生徒Aの回答が不十分な場合はほかの生徒にも答えてもらう。教師はすぐに説明してはいけない。 使用するもの:授業資料とPPT
4 mins	文法の補充説明(教師)	● 補充説明 T:さっきAさんが説明したように、形容詞と名詞のて形は文中で並列の意味を表します。文Aと文Bは違う表現ですが、同じ意味です。次のパターンとなります。一番間違いやすいところは「形容詞て形」の「いい」です。 ● 補充板書:形容詞と名詞のて形(並列) 1、A1 いくて、～。(補充注意点:いいーよくて) 2、A2 で、～。 3、Nで、～。 ● コナンを例として、形容詞と名詞のて形を使う文を口頭で回答させる。	間違いやすいところに注意してもらう。	注意点 板書は後ろの生徒にも見えるようにはっきり大きく書くこと 使用するもの:PP T
5 mins	文法練習	● 3分間で生徒に次の活用練習をさせる。各グループの3番の生徒に正解と文の通訳を答えてもらう。できたグループが1点をもらえる。	文法活用を覚えさせる。先ほど習った内容を習得かどうかチェックする	使用するもの:PP Tと授業資料

		【联：練習しましょう】。 1、あのりんごは_____、おいしくありません。(高い)。 2、この部屋は_____、小さいです。(狭い)。 3、佐藤さんは_____、北京大学の留学生です。(日本人) 4、この携帯は_____、軽いです。(便利)。 5、昨日は天気が_____、暖かったです。(いい)。 6、この図書館は_____、人が少ないです。(静か)。		
4 mins	クイズ時間	まず、生徒にクイズを聞かせ、そのクイズの正解は何なのか生徒に答えてもらう。先に回答できたグループが点数をもらう。  よく聞いてください。何ですか。当ててみてください  ちゅうごくじん おとこ ひと 1、中国人で、男の人です。  せ ひく さい 2、背がちよつと低くて、54歳です。  かね 3、お金がたくさんあります。  つく 4、アリペイを作っています。 「马云」という正解ができたなら、教師は次の質問をする。 この4つの文でどれが「形容詞と名詞のて形」を使うのですか。 生徒に一斉に答えてもらう。	クイズを用い、生徒の興味を引き付ける。そのうえ、聞く練習は注意力の鍛えにも良いのではないかと思う。	注意点： クイズを読み終わっても、誰も回答できない場合は、ヒントをひとつだけ出しても良い。使用するもの：ppt
8 mins	グループでクイズを作る	「马云」の例と授業資料の例を参考にし、「形容詞と名詞のて形」を使い、クイズを作る。それから、クラスで発表し、ほかのグループメンバーが当ててみる。採点規則は次のようである。PPTで生徒に説明する。 1、クイズは4つの文でなければならない。(なお、「形容詞と名詞のて形」を使う文は少なくとも二つでなければならない。そして平仮名もつける。できたグループは、10点をもらう。 2、クイズの中で間違っているところがあれば、1点ずつ減点する。 3、一番早く正解できたほかのグループメンバーがプレゼントをもらう。 4、検討後、グループメンバーの一人がクラスで発表する(ほかのグループメンバーが言った答えは正解かどうか確認し、クイズの説明をすること)。	グループで話し合うことで、面白いアイデアや独特な考えを生み出すかもしれない。そしてチームワークを高める。	注意点： 必ず検討時間を厳守すること。使用するもの：ppt、授業資料、タブレット
10 mins	グループの発表	● 発表の例： グループ1の生徒B：こちらは私たちグループのクイズです。	クイズの形で、活気のあ	注意点： この部

		当ててみてください。誰ですか。  ほかのグループメンバー生徒C:ドラえもんですか。 生徒B: いいえ、違います。 ほかのグループメンバー生徒D:クレヨン新ちゃん！ 生徒B: はい、正解です。 T:よくできました。でも いくつかの箇所は訂正しなければなら ない。ほかのグループのだれか答えられますか。 生徒E: こともーこども さんーさい T:はい、ということで、このグループは8点をもらえますね。 ● 順番で各グループ内で自分の書いたクイズをほかのグルー プメンバーに見せて、答えてもらう。そして間違っているところ を言ってもらう。	ふれた授業 になるのでは ないかと考え る。そして、 他人の文章 をチェックす ることを通し て、作文力を 高めてもら う。	分は時 間がか なりかか るので、 時間配 分に気 をつけな ければ ならな い。
2分 間	歌の意や味 感想を言わ せるとまとめ	● 最後、もう一度生徒にこの歌を歌わせる。歌の内容とアニメの内容を踏まえ、歌の意味感想を言わせる ● まとめ:「い形容詞て形」は並列の意味があるので、この歌は「友達との付き合いは、楽しい時間もあれば、悲しい瞬間もある。これこそ友情が生まれるだろう。」という意味だということがわかるだろう。  ● 形容詞と名詞のて形のパターンをはもう一度確認させる。	生徒に自分 の意見をはっ きりと述べさ せる。また、 歌を通して、 この文法をよ り一層に覚え させる。	注意点: 日本語 で説明し にくい場 合は中 国語を 使っても 良いと 生徒に 伝えて おく。
工夫点・アピールポイント(どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など) ネット普及につれて、若い世代(中国語で「00後」と呼ばれる世代)の興味や注目点は様々で、個性的になっているので、生徒全員の興味・関心を引き付ける授業づくりは、教師にとって大きい課題となっている。そのため、新学期が始まる際に、生徒に対して好きな曲やアニメや日本文化などについて、アンケート調査を行い、生徒の興味を把握した。その上で、授業で使う歌や例文に出るキャラクターは 全部アンケート調査に基づいて選んだ。日本語の授業は文法説明や練習になりやすいので、生徒からは授業がつまらないという声が多いようだ。クイズとグループ共同作業を用いて、活気にあふれた授業にしたいと思います。 この教案の中で、研修会で学んだことを活かした部分				

この教案の中で、研修会で学んだことを活かした部分は学習者同士による相互添削というものです。「作文の指導例」という講座で、他人の文章をチェックすることを通して、生徒の作文力を高めることができるということを勉強させていただいた。そういうやり方はほかの種類の授業にも実践してみたいと思います。だから、クイズ発表の時、ほかの生徒に間違っているところを言ってもらう。

※2 ページ以上になってもいいですが、項目は変更しないでください。